

桜島の火山活動－2002年6月～2002年10月－*

Volcanic Activity of Sakurajima Volcano – June 2002 – October 2002 –

鹿児島地方気象台

Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

活動概要

今期間、桜島南岳は噴火を繰り返し、2002年6月から10月までの噴火回数は20回、うち爆発回数は12回であった(第1図)。噴火の規模は比較的小さく、回数も他期間に比べ少ない。第1図、第2図に2002年6月から10月の地震、微動と噴火の発生状況を、第3図～第5図に1970年1月から2002年10月の月別爆発回数、月別地震回数を示す。

(1)遠望観測(第1図、第2図、第3図)

期間中の12回の爆発では、体感空振を4回(大1、小3)、爆発音を1回観測したが、噴石、火柱、火山雷はなかった。また、20回の噴火のうち噴煙を観測できたのは13回で、噴煙量はやや多量4回、中量9回であった。今期間、噴煙の最高高度は火口上2,200m(10月20日)であった。

(2)震動観測(第1図、第2図、第4図、第5図)

期間中、地震活動は比較的静穏で、火山性地震の少ない状態が続いた。震動観測点B点(南岳火口から北西2.3km)における地震回数は、もっとも多い月は6月の139回、少ない月は9月の51回であった。A型地震の発生も期間中、1か月に1回～6回と少なかった。

微動出現時間も地震と同じく、期間中総じて少なかった。そのなかで7月21日と22日には振幅の小さな微動が長時間(それぞれ19.1、12.5時間)発生した。震動観測点B点における微動出現時間は7月の41.0時間がもっとも多く、6月と9月の1.3時間がもっとも少なかった。

(3)現地観測

8月8日に海上自衛隊の協力を得てヘリコプターによる現地観測を行った。山頂は雲に覆われ、火口付近を観測することはできなかった。

(4)降灰の状況

鹿児島市東郡元町の気象台における降灰の観測では、今期間の降灰は少なく、6月から10月の5か月間で計57g/m²であった。10月18日に49g/m²の降灰を観測した以外は非常に少なかった。

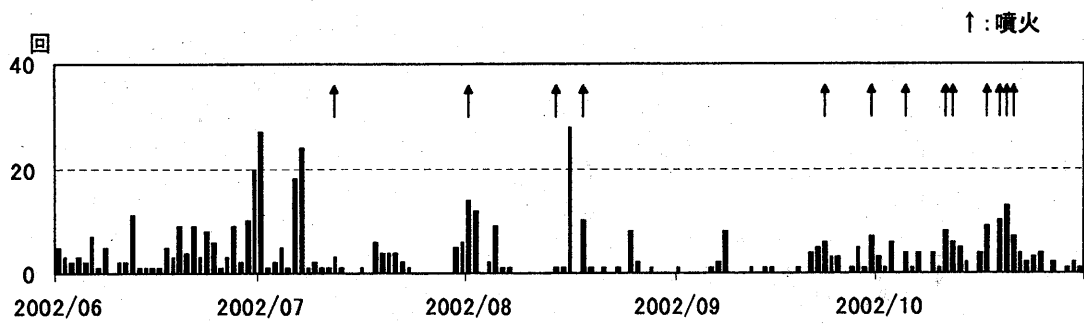
第1表 桜島の月別噴火回数(2002年6月～10月)

Table1 Monthly frequency of eruptions and explosions at Sakurajima volcano
(Jun. 2002–Oct. 2002).

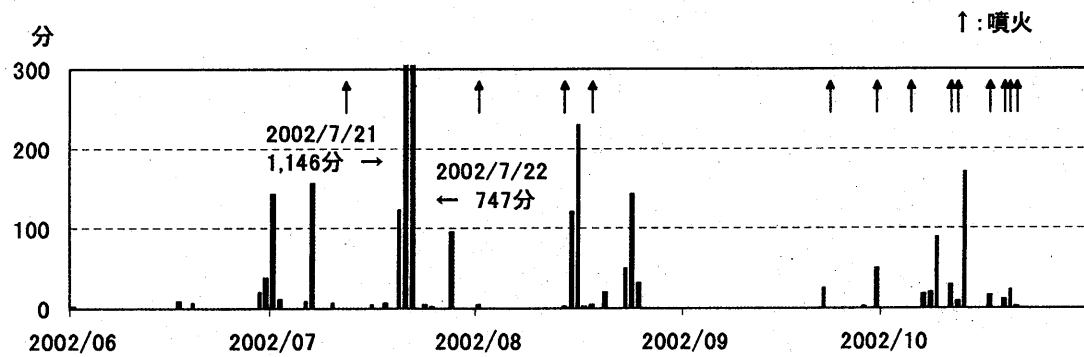
月	6	7	8	9	10	計
噴火回数	0	1	3	5	11	20
爆発回数	0	1	2	0	9	12

注) 爆発は噴火回数にも含まれる。

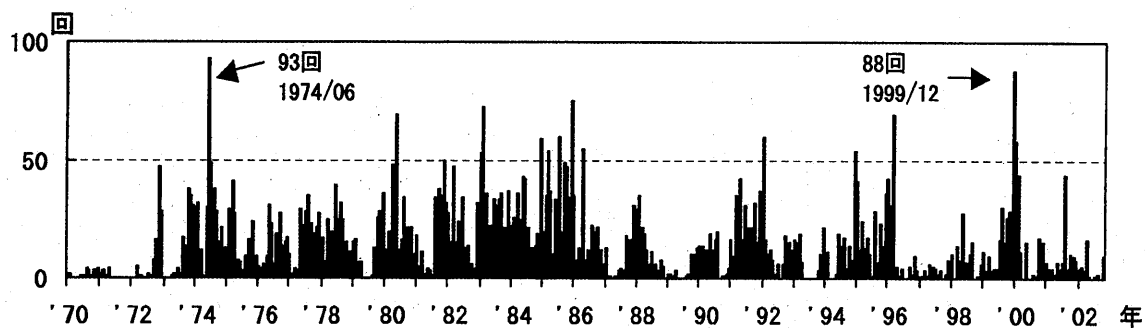
*Received 6 Jan., 2003



第1図 桜島(B点)の日別地震回数と噴火(2002年6月～2002年10月)
Fig.1 Daily frequency of volcanic earthquakes at Sakurajima volcano (June 2002–Oct. 2002).

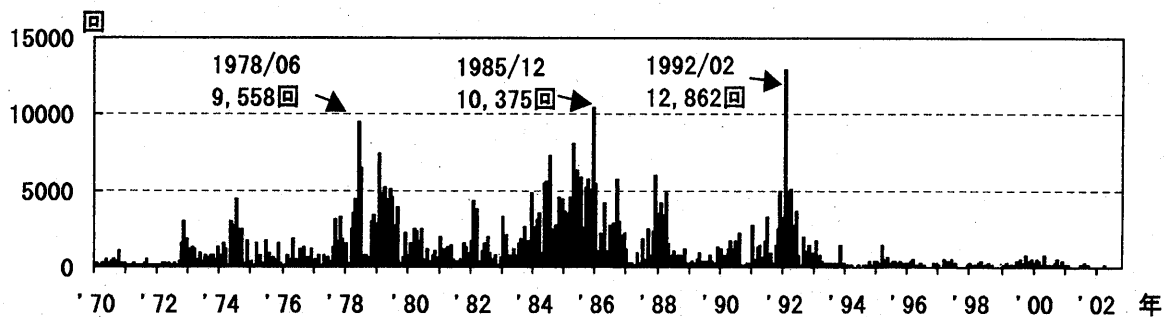


第2図 桜島(B点)の日別微動時間と噴火(2002年6月～2002年10月)
Fig.2 Daily hour of volcanic tremors at Sakurajima volcano (June 2002–Oct. 2002).



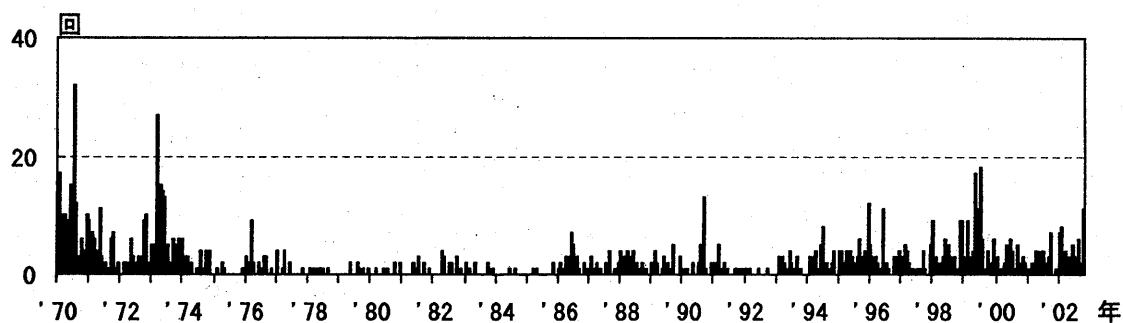
第3図 桜島の月別爆発回数(1970年1月～2002年10月)

Fig.3 Monthly frequency of explosions at Sakurajima volcano (Jan. 1970–Oct. 2002).



第4図 桜島(A点)の月別総地震回数(1970年1月～2002年10月)

Fig.4 Monthly frequency of volcanic earthquakes at Sakurajima volcano (Jan. 1970–Oct. 2002).



第5図 桜島(A点)のA型地震月別回数(1970年1月～2002年10月)

Fig.5 Monthly frequency of A type earthquakes at Sakurajima volcano (Jan. 1970–Oct. 2002).